東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2009年7月3日

忠言　－1－

親愛なるムスリムの皆様。預言者ムハンマドはあるハディースで、「教えとは、忠言である」とおっしゃられました。このハディースをもとにして、いくつかの忠言を行なっていきたいと思います。

大切な兄弟姉妹の皆様。タウヒードの信条を、正しく理解し、それに反論の余地を残させないで下さい。クルアーン以外のものを基準としないでください。預言者ムハンマドもその信条をクルアーンから得られたのです。

タウヒードの信仰は、実行によって発展し、その果実を実らせます。だから必ず礼拝を行ってください。断食を行ってください。ザカートを支払ってください。可能となり次第、巡礼を行なってください。アッラーは夜を休息のため、昼を労働のために創造されたと明言されていることを忘れてはいけません。だから夜には休息してください。そうすれば朝には力強く目覚めることができます。朝の礼拝を寝過ごすことには、どのようなことも正当な弁明にはなりえません。

まずクルアーンをはじめとして、あなた方に残すものが多い書物を読んでください。可能な限り日々の世相を追跡してください。ムスリムとは、世界的な視野を持つ人です。だから世界で起こっていることを知らないままでいてはいけません。観察し、話し合い、検討しあってください。兄弟姉妹の皆様。人々に対しては、直接、あるいは電話などで、温かい態度、優しい声で話してください。相手の話すことを注意深く聞いてください。誤っていたとしても、何を言おうとしているのか理解してください。そして言いたいことははっきりと言ってください。いいこと、正しいことのみを話してください。

「知りません。」ということは弱さではなく、立派なことです。「知っていることを、よりよく知っている人が必ずいる。」と言うことを忘れないでください。知らないことを学ぶため、研究してください。異なる視点があれば検討して判断し、最も正しいものを選ぶよう努めてください。

ムスリムであったとしても、誰かの言葉を絶対的な真実だと受け止めてはいけません、クルアーンと比較し、正しいということがはっきりしてからそれを認めてください。一つの点で正しいことを語っている人でも、他の点では間違っていることもあることを忘れてはいけません。過ちを絶対に犯さないのはアッラーのみです。過去の過ちを膨張させて新たな過ちに陥ってはいけません。「真実は私だけが知っているし、私が話すことは絶対的な真実だ。」というような言葉は、ただアッラーのものである、ということを常に認識しておいてください。

人と接する時は相手に敬意を示してください。それによって相手もあなたに敬意を示すでしょう。人々を、人間と認めてください。アッラーは全ての人間を、敬意を払われる存在として創造されたのです。これは、人々の過ちに価値を与えることではありません。また彼らの過ちを指摘することが、彼らを人間として認めないことを意味するものでもありません。

人々の地位ではなく、話す内容に留意してください。相手が誰であれ、そこで真実が語られたのであればそれを受け入れてください。重要なのはこの点であって、あなた方が必要とするものもまず、真実なのです。